



第337号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



鬼とは誰のこと

酷寒とはいえ、毎日に日脚が伸びています。B型インフルエンザが大流行し、受験生を持つ親御様たちは心配なことです。お寺の庭にも梅の花が一輪一輪と咲き始めました。皆様お元気ですか。



カット：本多紘子

節分が近づき、豆まきの行事で大忙しのお寺や神社がたくさんあります。節分の変り目をいい、立春・立夏・立秋・立冬の4回ありますが、中国に習い立春の前日の2月3日が節分の日となり、悪疫を退散させるために炒り豆を鬼の面をかぶった人に投げて「福は内 鬼は外」と言いながら、悪疫退散・招福の行事となりました。奈良時代に中国の宮廷から伝わり、平安時代には宮中の行事となり、江戸時代に入ってから庶民の行事と成っていったようです。中国では一年の始まりが2月の旧正月からなので、年の終わりに悪疫や鬼が暴れ出さないように立春の前日に「鬼遣（おにやらい）」の行事を始めたのが起源だそうです。

日本の伝統芸能の『狂言』にも「節分」という演目があり、「節分の夜、鬼に口説かれた女が鬼を騙して隠れ蓑や打ち出の小槌や財宝を奪い、その挙げ句「鬼は外」と豆をまいて追い出してしまう拍手喝采の演目です。でも愚僧は鬼が哀れでなりません。人間の綺麗な女性に

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

心を奪われて結婚を申し込んだのに、家も財産も何もかも乗っ取られて追い出されるのは本当に悲しいことです。まるで高齢の男性が奥さんに先立たれ、寂しい独り身から抜け出したいと結婚相談所に申し込んで綺麗な人と出逢い、籍を入れた途端に毒を飲まされ家や財産だけでなく生命まで奪われる『後妻業』の女の話と似ているからです。

『鬼子母神経』の中に、鬼子母という鬼の子の母が神になるという物語がありますが、鬼子母に角はあっても真に優しい菩薩様のような顔でした。鬼子母の父も母も祖父も祖母も親戚中がみんな鬼だから、自分のことを鬼とと思っていません。鬼子母は美男子の鬼と結婚し、五百人の子供を産みます。鬼にとつての一番の御馳走は人間の子供でした。愛する自分の子たちに、お釈迦様の住む王舎城の町で毎晩のように、人間の子をさらって鬼の子たちに食べさせたのです。王舎城に住む人たちは恐怖と悲しみに明け暮れ、役人達も鬼子母を捕らえることが出来ず途方にくれています。

そこでお釈迦様が立ち上がり、神通力で鬼子母の五百人の子の末子であるピンガラを捕らえ隠します。鬼子母が人間の子をさらって帰り子供たちに食べさせようとすると、自分の愛しいピンガラがいなくて、半狂乱となり天地を飛び回って探しますが見つからず、お釈迦様のもとへすごと尋ねていきます。お釈迦様はピンガラがいなくなった時間に、母親のお前は何をしてたのかと鬼子母に質問すると、鬼子母は恥ずかしくて答えられません。

鬼子母は五百人の子の一人が居なくなっただけで半狂乱になったのである。人間のお母さんの悲しみを知った鬼子母は、人間の子を食べさせないだけでなく、人間の子を護る神様となったのです。

世界には自分だけが、自分の国だけが幸せになればよいと、戦闘機やミサイルを売りまくって、紛争や戦争を起こさせる人は鬼ですね。人を食ったような作り話や嘘を平気でつく人は、もはや人の心を持った餓鬼や羅刹です。人間の世界を取り戻そうよ。合掌（奥原 曇龍）

『世の中は我利我利亡者の鬼ばかり 人間とはナンダ現代の問い』 どんりゅう

日時・二月 六日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで
三月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり 16

お釈迦様が二十九歳の時、突然に釈迦族の王子の位を捨てて王妃と子供を残し、カピラ城を出て出家しますが、仏教関係の高校で勉強する女子高生たちは、この行動に対してとても悲しくなるそうです。

当時のインドでは、上流のバラモン階級だけでなく、他の新興階級の間にも、人生とはナンダ。人間とはナンダ。どう生きることが人間として本当の生き方なのかと人生問題を解決するために、妻子を捨てて家を出て、道を決めるという風習があったのです。

お釈迦様もこの風習に従って、出家求道の旅に出られます。お釈迦様の生まれる二〇〇〇年前のブラーフマナ時代から、このような風習が生まれ、時代が下るにつれて制度化したインド上層階級の四時期の習慣と関係しています。四時期とは、物心ついてからの男子の一生を四つの時期に区分したものです。

①学生期。七、八歳のころから約十二年間の修学時代。この時はバラモンの学問の師の家起居し、ヴェーダその他、人生に必要なあらゆる学問技術を学び、独身で厳格な訓練のもとに生活します。

②家長期。二十歳前後に学生期を卒業し、家に帰って結婚し、家長として家業に従事する。義務として家の財産や子孫や祭祀の火を絶やさぬこと。神々や祖先の霊を祀ること。父母師長に孝養を尽くし、客を歓待し、宗教家や困窮者に財物の施しをすることです。

③林棲期。五十歳頃になって、頭に白髪が生じ、長子が結婚して家督を継ぐころになると、家を出て森林に隠遁する。林中にあっては断食や苦行をして梵我一如に努める。

④遊行期。林中での修行が完成し、人生問題が解決され、次には森を出て、村落や都市を托鉢遊行し教えを広める時期です。

四時期に執われず、結婚もせずに修行する独身者も増えていました。合掌(奥原豊龍)

雪が舞う寒風のなかを大遊び 紅梅一輪ともしびの寺 田辺多恵子



心光寺元旦説法にて

ともしび法話

余寒なお厳しい折柄、2月の節分です。風邪が流行っています。豆まきで鬼退治するように風邪も退治したいですね。

長女の綾も社会人1年生で何とか頑張ってくれ、弟の龍は大学3年生、次女の唯は大学1年生で、2人とも親元を離れて勉強しています。心の大きな人に育って... 心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

謹賀新年

いつも笑顔のそこぬけに明るい年でありますように... 心光寺の皆様にとつて幸多き一年でありますように...

倉敷市福井 重野 涼子
新酒汲む傘寿迎えて潔よし 藤原智恵子
早島町若宮

お寺にお参りすれば、何故か心身ともに落ち着きます。本年も宜しく... 堀 春良

倉敷市上東 倉敷市市宿 三村 健
人生の登山で、今は下山しながらふり返りふり返り、今年も大切に歩み続けます。

ともしび説法

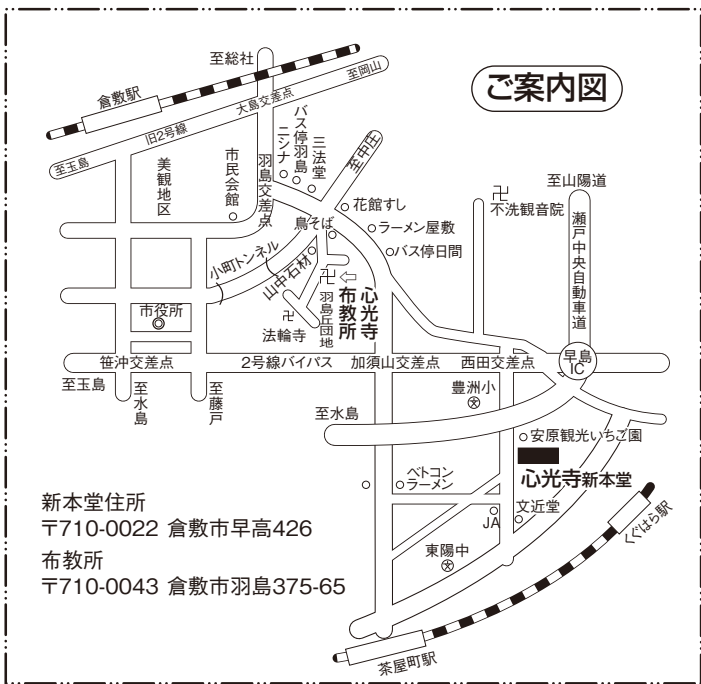
日時・二月 六日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで
三月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

◎ともしび説法・お寺の行事予定

四月 十五日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
午前・ハンドベル・パンフルート演奏、午後・永代経法要。
五月 九日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



こころの詩

倉敷の町にしんしんと雪積もる
寒さに心ふるえつつ
幸せ求めて旅に出る
好きなことやりたいことを
背中のザックに押し込めて
空を仰いで峠をさすらう
冬は私を育てるきびしき父



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「337号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健